

南アルプス 大武川一ノ沢IC

【日時】 2014年1月4日(土)～5日(日)

【メンバー】L小暮、笹川

大武川一ノ沢は当会でもお世話になっているわらじの仲間の宮内さんの初登ルートだ。約30年前の登攀を想像しながら温めていたルートに行ってきました。

1/4 曇り

過去の記録を見ると同じルートなのに日帰りから2泊3日までとかかる日数が幅広いが、行ってみて理由が分かった。氷瀑の難易度はそれ程難しくないのだが、アプローチが長く悪い。我々は林道ゲートから新しい林道を歩き、尾根に取り付こうとしたが旧道と交わっておらず、仕方なく途中で懸垂し旧道に下りた。ここは渡渉するのが正解だ。(渡渉用に石が置いてあった)

以前、塩沢のアプローチで苦労したことを思い出し、今回はチェンスパイクを用意。離山北稜の取付きは急で、泊まりのIC装備には堪えるが、チェンスパイクと鹿道のおかげで少しは楽に登れた。取りあえずの目標は1393mのコルなのだが、足が吊りそうでペースが上がらない。1393mのコルからは沢を下降したが、チェンスパイクに湿った雪がついてかえって危険なので、アイゼンに履き替えた。雪の下に岩が隠れていてどうにも歩きにくい。

一ノ沢に出た所で下の大滝を見に行くが氷っておらず登れそうにない。この先に良い天場があるか分からないので、出合で泊まることにした。小暮は早く着いたら初日に大滝に行こうと目論んでいたが、既に12時を過ぎていたので今日は早めの宴会とした。

1/5 曇り

今日は大滝を登って林道ゲートまで戻らなくてはいけないので、ヘッドランプをつけて行動開始。下の大滝は左岸に巻いたトレースがあり、そのままトレース通りに登る。その後も沢はジャージャーと水が流れているので、左岸を巻き



大武川一ノ沢大滝

続けるが、予想外に悪く何度かお助けを出してもらい、大滝に到着するまでに2時間近くもかかってしまった。

・1ピッチ目（小暮リード）Ⅲ～Ⅳ

左の氷結の良い箇所から取り付く。簡単なようでスイスイとロープが伸びていく。

・2ピッチ目（小暮リード）Ⅲ～Ⅳ+

落氷を気にして右へ斜上するが、氷が悪く時間がかかる。右端へ行った所で少し立った氷となる。ここでバイルを打ったらミシミシと横3mに亀裂が入ったのでビックリした。ここは右へ行かず、左や真ん中を登った方が早そうだ。

・3ピッチ目（笹川リード）Ⅲ～Ⅳ-

リードを交代してすぐにまた3m程の亀裂が入る。

良く氷っているように見えたが怖い。簡単なのでどれ位の間隔でスクリューを打てばいいのか悩むが、やはり怖いので多めに取ってしまった。大滝上にすぐナメ滝があるのでロープが届かなそうなので、左岸にある灌木でピッチを切った。



1ピッチ目

時間もないのでここから懸垂で降りる事にした。支点の木が弱いので、シュリングをかけ直したが、次回来ることがあったらこの木は使いたくない。懸垂支点の下が氷なので斜めに下降しなくてはならないのだが、アイスの斜め懸垂は氷で足が滑って難しい。合計3ピッチで取付きに戻る。懸垂下降にも時間がかかったので、急いで天場へ戻る。

天場からは来た枝沢を登るのだが、急で面倒だ。1393mのコルからはチェーンスパイクを履いてトレースを辿るが、所々尾根が広いので視界が悪くてトレースがないと迷いそうだ。

帰りは堰堤上を渡渉して林道に出た。林道に出たあたりで暗くなりヘッドランプを出す。この所、ヘッドランプをつけて出発、帰りもヘッドランプで車に戻ることが多いので、もう少し早く行動できるようになりたい。

【行程】 1/4 大武川林道ゲート(7:15)～離山北稜(8:25)～1393mコル(11:00)～枝沢下降～二俣BC(12:30)

1/5 BC(6:25)～一ノ沢大滝(8:15/8:55)～懸垂下降(13:20)～BC(14:25/14:50)～1393mコル(16:00)～ゲート(17:40)

【地図】 長坂上条、鳳凰山